

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和3年1月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



## 目 次

### I 事後調査の概要

1. 調査概要 .....	I - 1
2. 工事の実施状況 .....	I - 3
3. 調査結果の概要 .....	I - 4

### II 事後調査結果

1. 大気質 .....	II - 1
2. 水質 .....	II - 9



## I 事後調査の概要



## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和3年1月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	1月1日～31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	1月6日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

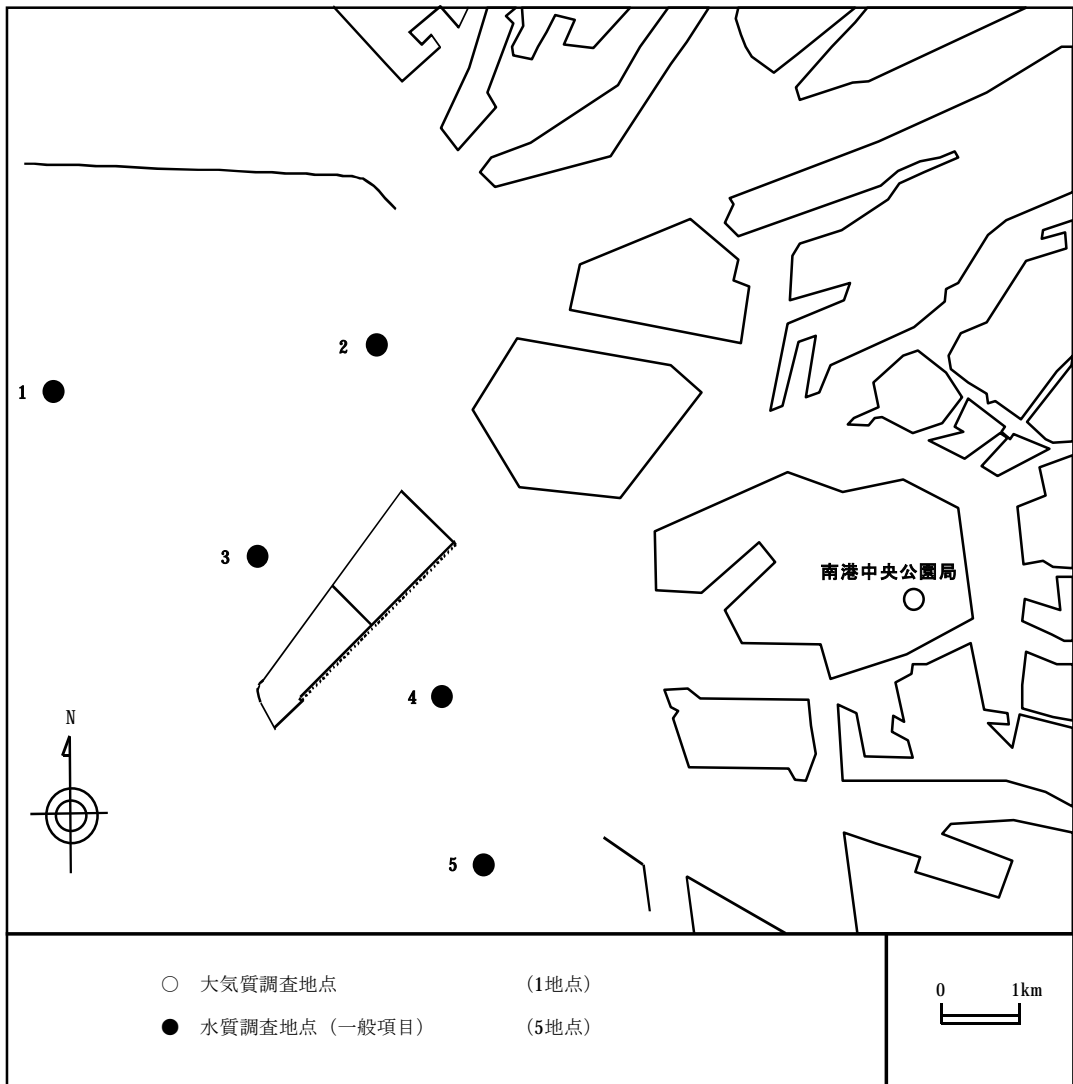
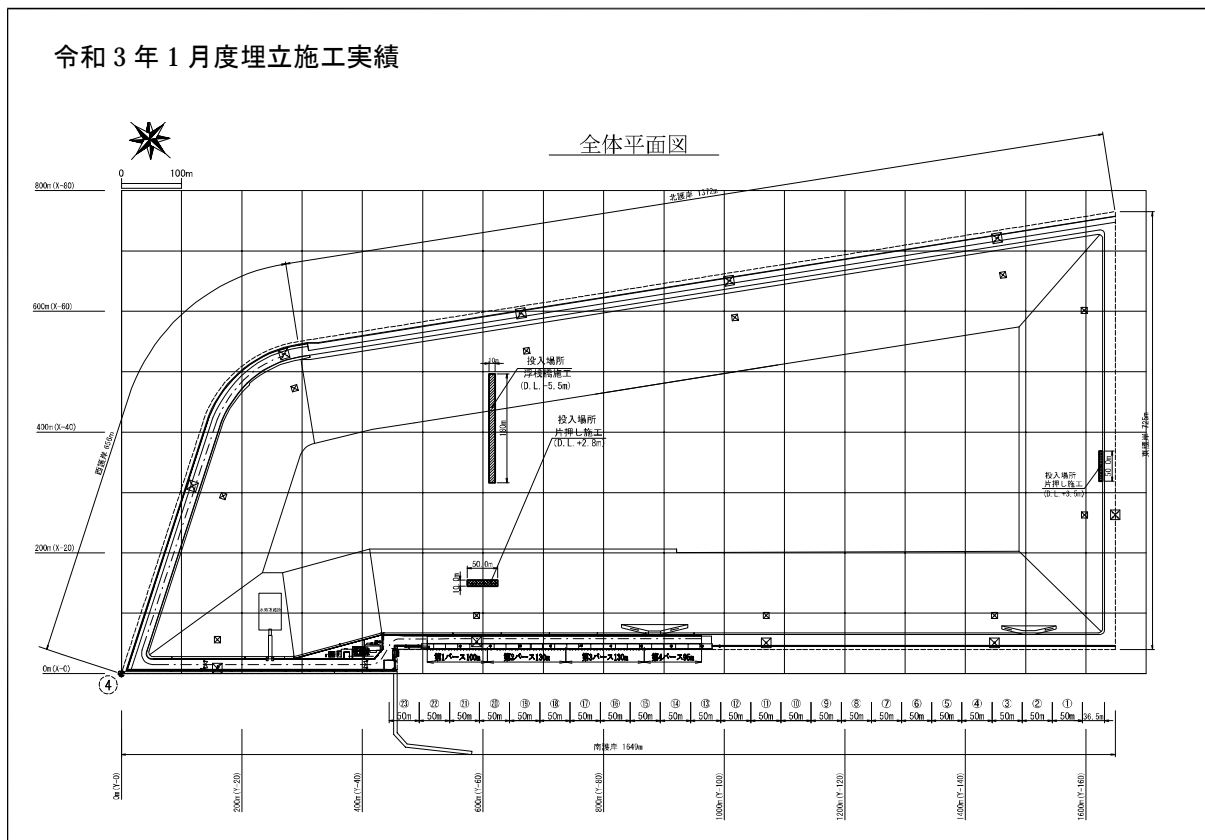


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点



## 2. 工事の実施状況

令和3年1月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
5,872,494	42.0

埋立容量 (計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】  
二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.003ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.005ppm、1時間値の最高値は 0.011ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】  
二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.021ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.048ppm であり、環境基準値の範囲内であった。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】  
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.013mg/m<sup>3</sup> であった。また、日平均値の最高値は 0.036mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は 0.064mg/m<sup>3</sup> であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】  
水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.0～8.1、下層でいずれも 8.1 の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。
- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】  
化学的酸素要求量 (COD) は上層で 2.4～3.0mg/L、下層で 1.6～2.2mg/L の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。
- 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】  
溶存酸素量 (DO) は上層で 9.7～9.9mg/L、下層で 8.1～10mg/L の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。
- 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】  
全窒素 (T-N) は上層で 0.54～1.5mg/L、下層で 0.23～0.31mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。  
環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.62mg/L)、調査地点 2 (1.5mg/L)、調査地点 3 (1.2mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものでは

ないと考えられる。

**5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】**

全燐 (T-P) は上層で **0.034~0.078mg/L**、下層で **0.019~0.028mg/L** の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 **2 (0.078mg/L)**、調査地点 **3 (0.059mg/L)** であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 **12** 年度) は上層で **0.021~0.15mg/L** であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

**6) 濁度**

濁度は上層、下層ともいずれも **1 度(カリン)**であった。

**7) 浮遊物質量 (SS)**

浮遊物質量 (SS) は上層、下層ともいずれも **1~2mg/L** の範囲であった。

**8) クロロフィル a**

クロロフィル a は上層で **1.8~5.5 μg/L**、下層で **2.4~4.7 μg/L** の範囲であった。

## 《 参 考 》

### ■環境基準値等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が <b>0.04ppm</b> 以下であり、かつ、 1 時間値が <b>0.1ppm</b> 以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が <b>0.04ppm</b> から <b>0.06ppm</b> までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が <b>0.10mg/m<sup>3</sup></b> 以下であり、かつ、 1 時間値が <b>0.20mg/m<sup>3</sup></b> 以下であること。

##### (2) 水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	<b>7.8</b> 以上 <b>8.3</b> 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	<b>3mg/L</b> 以下
	溶存酸素量 (DO)	<b>5mg/L</b> 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	<b>0.6mg/L</b> 以下
	全燐 (T-P)	<b>0.05mg/L</b> 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75%**水質値」を用いるものとする。

**75%水質値**・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（**n** は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値**（**0.75×n** 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1~5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大~最小」の値は、調査地点 1~5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m: 環境基準値を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小~最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小~最大を示す。



## II 事後調查結果





大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表〔令和3年1月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	742
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	4
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10ng/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.20ng/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果〔令和3年1月分〕

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (金)	0.002	0.003
	2 (土)	0.003	0.004
	3 (日)	0.002	0.003
	4 (月)	0.003	0.005
	5 (火)	0.004	0.006
	6 (水)	0.003	0.004
	7 (木)	0.002	0.003
	8 (金)	0.002	0.003
	9 (土)	0.002	0.003
	10 (日)	0.003	0.005
別	11 (月)	0.003	0.004
	12 (火)	0.003	0.004
	13 (水)	0.004	0.006
	14 (木)	0.005	0.009
	15 (金)	0.004	0.011
	16 (土)	0.003	0.006
	17 (日)	0.002	0.004
	18 (月)	0.003	0.005
	19 (火)	0.002	0.003
	20 (水)	0.003	0.005
値	21 (木)	0.004	0.008
	22 (金)	0.004	0.005
	23 (土)	0.002	0.003
	24 (日)	0.002	0.003
	25 (月)	0.003	0.005
	26 (火)	0.003	0.005
	27 (水)	0.003	0.005
	28 (木)	0.003	0.004
	29 (金)	0.002	0.003
	30 (土)	0.003	0.005
	31 (日)	0.003	0.005
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		742	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.005	
1時間値の最高値 (ppm)		0.011	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。





窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [令和3年1月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日	1 (金)	0.007	69.5	0.013
	2 (土)	0.010	76.4	0.015
	3 (日)	0.008	72.9	0.016
	4 (月)	0.025	80.3	0.051
	5 (火)	0.065	55.7	0.129
	6 (水)	0.019	78.2	0.060
	7 (木)	0.013	76.7	0.018
	8 (金)	0.012	70.8	0.028
	9 (土)	0.010	72.9	0.017
	10 (日)	0.010	75.8	0.017
別	11 (月)	0.031	71.3	0.080
	12 (火)	0.065	56.6	0.112
	13 (水)	0.045	62.4	0.129
	14 (木)	0.115	40.2	0.240
	15 (金)	0.093	52.2	0.188
	16 (土)	0.064	47.5	0.212
	17 (日)	0.009	75.0	0.020
	18 (月)	0.018	76.2	0.042
	19 (火)	0.017	76.6	0.037
	20 (水)	0.041	65.9	0.123
値	21 (木)	0.099	46.9	0.150
	22 (金)	0.114	39.7	0.191
	23 (土)	0.030	75.1	0.054
	24 (日)	0.014	83.5	0.023
	25 (月)	0.034	77.8	0.074
	26 (火)	0.047	61.3	0.124
	27 (水)	0.028	81.4	0.043
	28 (木)	0.029	76.9	0.055
	29 (金)	0.013	74.3	0.023
	30 (土)	0.014	76.8	0.032
	31 (日)	0.016	84.3	0.029
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		741		
月平均値 (ppm)		0.036		
日平均値の最高値 (ppm)		0.115		
1時間値の最高値 (ppm)		0.240		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		58.8		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>) の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) = \frac{(\text{NO} \text{ 及びNO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和)} / (\text{NO} \text{ 及びNO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO} + \text{NO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和)}$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和3年1月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (金)	0.005	0.008
	2 (土)	0.009	0.015
	3 (日)	0.010	0.016
	4 (月)	0.011	0.040
	5 (火)	0.019	0.028
	6 (水)	0.008	0.018
	7 (木)	0.006	0.015
	8 (金)	0.005	0.007
	9 (土)	0.006	0.008
	10 (日)	0.008	0.013
別	11 (月)	0.010	0.025
	12 (火)	0.016	0.025
	13 (水)	0.018	0.030
	14 (木)	0.036	0.064
	15 (金)	0.036	0.063
	16 (土)	0.023	0.046
	17 (日)	0.009	0.020
	18 (月)	0.008	0.015
	19 (火)	0.007	0.015
	20 (水)	0.008	0.018
値	21 (木)	0.017	0.030
	22 (金)	0.025	0.038
	23 (土)	0.010	0.016
	24 (日)	0.005	0.008
	25 (月)	0.009	0.013
	26 (火)	0.011	0.018
	27 (水)	0.011	0.018
	28 (木)	0.015	0.023
	29 (金)	0.007	0.017
	30 (土)	0.010	0.020
	31 (日)	0.017	0.026
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		741	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.013	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.036	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.064	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）[令和3年1月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向  16方位
		平均 風速  (m/s)	最大風速		
			風速  (m/s)	風向  16方位	
日	1 (金)	3.0	4.3	WNW	WNW
	2 (土)	2.5	4.4	WNW	WNW
	3 (日)	2.1	4.9	WNW	WNW
	4 (月)	0.9	2.4	WSW	SW
	5 (火)	0.7	1.6	WNW	CALM
	6 (水)	2.3	3.9	WSW	WNW
	7 (木)	3.5	5.6	WNW	WNW
	8 (金)	3.6	5.0	WNW	WNW
	9 (土)	3.2	5.2	WNW	WNW
	10 (日)	2.9	4.0	WNW	WNW
別	11 (月)	1.1	4.0	WNW	WNW
	12 (火)	0.5	0.9	SE, NW	CALM
	13 (水)	1.0	2.5	WNW	WSW, W
	14 (木)	0.8	2.3	SW	CALM
	15 (金)	0.7	1.4	WNW	ESE
	16 (土)	0.9	2.5	W	N
	17 (日)	2.0	5.3	W	WNW
	18 (月)	2.6	5.2	W	WNW
	19 (火)	2.1	3.8	WNW	NW
	20 (水)	0.8	1.3	NW, NNW, SE	NW
値	21 (木)	0.6	1.2	SE	CALM
	22 (金)	0.5	0.9	NE, N	CALM
	23 (土)	1.1	1.8	NNE	NNE
	24 (日)	0.8	1.4	NNE, NE	NNE, NW
	25 (月)	1.0	2.0	ENE	NE, WNW, N
	26 (火)	1.3	3.8	SE	NNE
	27 (水)	1.2	2.3	N	NW
	28 (木)	1.3	3.5	WSW	NNE
	29 (金)	4.0	5.9	WNW	WNW
	30 (土)	2.8	4.9	WNW	WNW
	31 (日)	1.1	2.4	WNW	WNW
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		1.7			
月最大風速 (m/s)		5.9			
月最多風向 (16方位)		WNW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

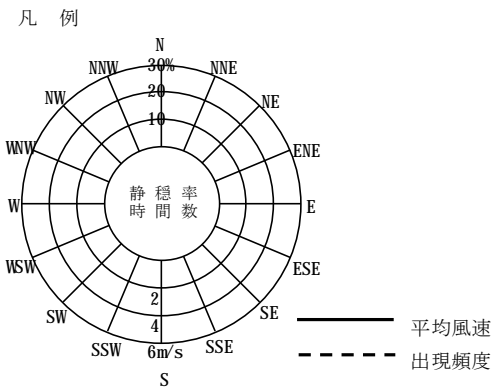
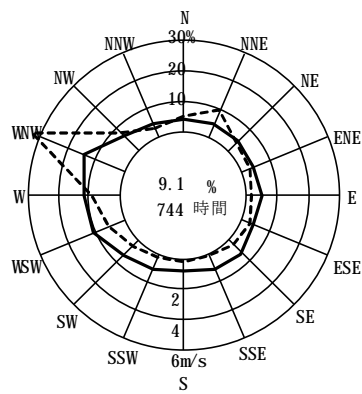
2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和3年1月分]

方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	70	29	20	13	22	14	5	5	8	19	42	66	239	63	23	38	68	744
頻度 (%)	9.4	3.9	2.7	1.7	3.0	1.9	0.7	0.7	1.1	2.6	5.6	8.9	32.1	8.5	3.1	5.1	9.1	-
平均風速 (m/s)	0.9	0.9	0.8	1.0	0.8	1.2	1.1	0.8	1.0	1.3	2.2	2.3	2.8	1.3	1.0	0.9	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和3年1月分]



水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和3年1月分〕

調査日：令和3年1月6日

項目	調査点					最小値	～	最大値	平均値	
	1	2	3	4	5					
時刻	9:20	8:47	9:45	10:15	10:40	-			-	
透明度 [m]	5.0	4.3	5.3	4.5	5.9	4.3	～	5.9	5.0	
水温 [°C]	11.3	11.5	9.6	11.2	11.0	9.6	～	11.5	10.9	
	13.0	12.3	12.9	12.5	11.9	11.9	～	13.0	12.5	
塩分 [-]	28.5	22.3	26.1	29.5	29.5	22.3	～	29.5	27.2	
	31.6	31.2	31.9	31.6	31.5	31.2	～	31.9	31.6	
濁度 [度(カリン)]	1	1	1	1	1	1	～	1	1	
	1	1	1	1	1	1	～	1	1	
浮遊物質量 (SS) [mg/L]	2	1	1	1	1	1	～	2	1	
	2	1	2	1	2	1	～	2	2	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.1	8.0	8.1	8.1	8.1	8.0	～	8.1	-	
	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	～	8.1	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	2.8	3.0	2.8	2.5	2.4	2.4	～	3.0	2.7	
	1.9	2.0	1.6	2.2	1.8	1.6	～	2.2	1.9	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	9.9	9.8	9.9	9.7	9.9	9.7	～	9.9	9.8
	飽和度 [%]	108	104	103	107	108	103	～	108	106
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.62	1.5	1.2	0.56	0.54	0.54	～	1.5	0.88	
	0.26	0.31	0.29	0.23	0.24	0.23	～	0.31	0.27	
全燐 (T-P) [mg/L]	0.037	0.078	0.059	0.042	0.034	0.034	～	0.078	0.050	
	0.023	0.028	0.028	0.019	0.023	0.019	～	0.028	0.024	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	4.2	1.8	2.9	5.5	5.2	1.8	～	5.5	3.9	
	3.3	4.7	2.4	3.9	3.7	2.4	～	4.7	3.6	

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------